京都大学におけるDOIの活用

～リポジトリを中心として～

Crossref Live Tokyo

2018-02-14

京都大学附属図書館　Kyoto University Library

冨岡 達治　Tatsuji Tomioka（tomioka.tatsuji.5a@kyoto-u.ac.jp）

目次

- 京都大学のオープンアクセス推進とリポジトリ「KURENAI」
- DOI活用 - 利用の立場から
- DOI活用 - 付与の立場から

京都大学の図書館について

- 50の図書館/室
  - 附属図書館 & 部局毎の図書館/室
  - 「京都大学図書館機構」を構成
    （Kyoto University Library Network）
- 蔵書数: 700万冊
  - 所蔵雑誌: 12万タイトル
  - 電子ジャーナル：3万6千タイトル

オープンアクセス推進事業

（2016～2021）

オープンアクセス推進事業

1. オープンアクセス推進のための学術論文等の研究成果公開の推進
2. 貴重資料等の一次資料のデジタルアーカイブ化による人文社会科学系研究基盤の強化
3. コンテンツの国際展開
4. オープンサイエンスや研究公正を踏まえた研究情報の適切な管理とアクセスのための人材育成
5. 専門的有識者をコアにしたプロジェクト体制と研究支援職員の組織的育成

京都大学貴重資料デジタルアーカイブ

https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/

京都大学オープンアクセス方針

京都大学オープンアクセス方針

京都大学の教員が生み出した
学術論文等の研究成果を
「京都大学学術情報リポジトリ
KURENAI」によりインターネット上で
原則公開することを定めたもの
（2015年4月採択）

京都大学オープンアクセス方針

平成 27 年 2 月 20 日 図書館協議会承認
平成 27 年 4 月 14 日 部局長会議承認
平成 27 年 4 月 28 日 教育研究評議会承認
平成 27 年 4 月 28 日 役員会承認

（趣旨）
1. 京都大学は、本学に在籍する教員（以下「教員」という。）によって得られた研究成果に対する学内外からの自由な閲覧を保証することにより、学術研究のさらなる発展に寄与するとともに、情報公開の推進と社会に対する説明責任を果たすために、オープンアクセスに関する方針を以下のように定めるものとする。

（研究成果公開の権限）
2. 京都大学は、出版社、学会、学内部局等が発行した学術雑誌（図書等を除く）に掲載された教員の研究成果（以下「研究成果」という。）を、京都大学学術情報リポジトリ（以下「リポジトリ」という。）によって公開する。ただし、研究成果の著作権は京都大学には移転しない。

（適用の例外）
3. 著作権等の理由でリポジトリによる公開が不適切であるとの申し出が教員からあった場合、京都大学は当該研究成果を公開しない。

（適用の不遡及）
4. 本方針施行以前に出版された研究成果や、本方針施行以前に本方針と相反する契約を締結した研究成果には、本方針は適用されない。

（電子データの提出とリポジトリへの登録）
5. 研究成果の発行版がリポジトリでも公開可能である場合、京都大学は当該発行版をリポジトリに登録することができる。発行版の公開は禁じているが著者版の公開を許している場合、研究成果の公開に同意した教員は、著者最終稿等を、できるだけすみやかに京都大学へ提出する。リポジトリへの登録・公開、公開後のデータ利用等、リポジトリに関わる事項は、「京都大学学術情報リポジトリ運用指針」に基づき取り扱う。

（その他）
6. 本方針に定めるもののほか、オープンアクセスに関し必要な事項は、関係者間で協議して定める。

https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/content0/13092

京都大学 学術情報リポジトリ
KURENAI

京都大学 学術情報リポジトリ

https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/

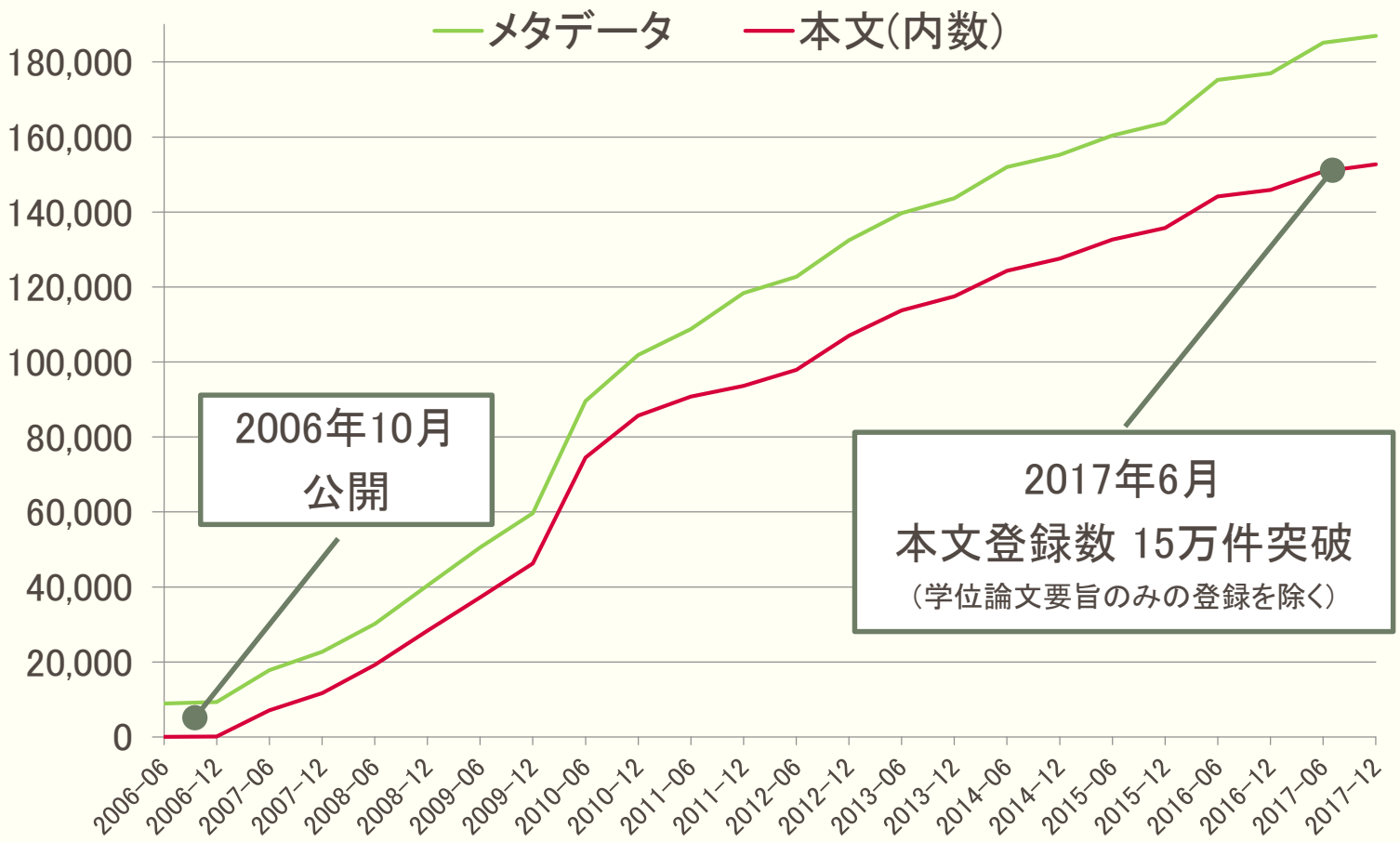
KURENAI – 概要

- Kyoto University REpository for Navigating Academic Information
- 紅（くれない） = Crimson
  - 日本の伝統色
  - “紅萌ゆる”：京都大学の前進校の寮歌

紅

Color Codes
[HEX] #d7003a
[RGB] R:215 G:0 B:58
[CMYK] C:0 M:100 Y:65 K:10

KURENAI – コンテンツ登録数



KURENAI – ランキング

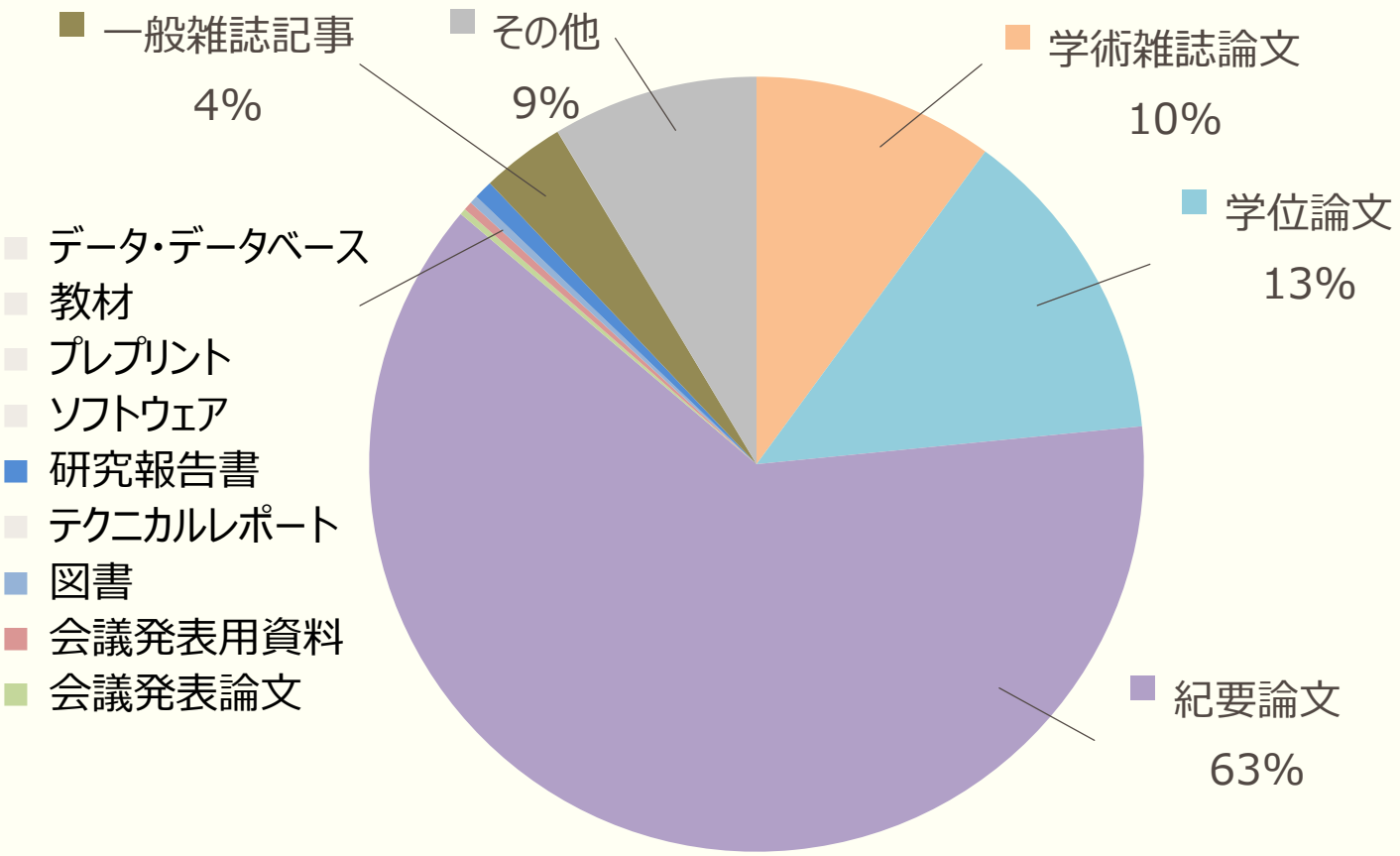
- Ranking Web of Repositories

  http://repositories.webometrics.info/en

  - スペイン高等科学研究院（Consejo Superior de investigaciones cientificas）による世界リポジトリランキング（2017年1月版）

区分	順位
World	52
Top Institutionals	41
Asia	1
Japan	1

KURENAI – 収録コンテンツ



DOI活用 - 利用の立場から

KURENAIでのDOI表示

ホーム　ブラウズ　アクセスランキング　アクセス統計　京都大学　図書館機構　Language

京都大学学術情報リポジトリ
KURENAI 紅
Kyoto University Research Information Repository

京都大学
KYOTO UNIVERSITY

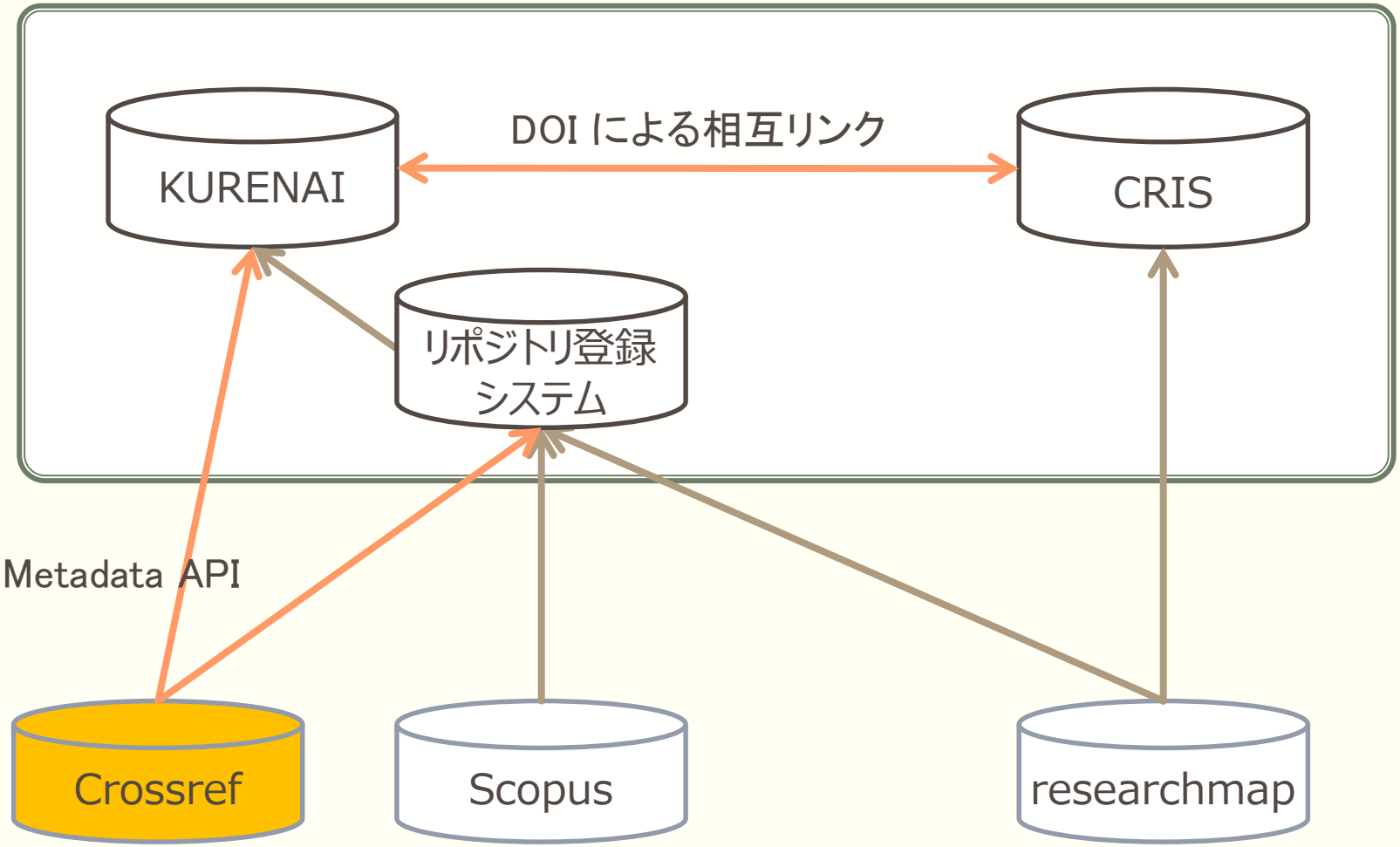
Kyoto University Research Information Repository / 150 生命科学研究科 / 学術雑誌掲載論文等

このアイテムのアクセス数: 4

このアイテムの引用には次の識別子を使用してください: http://hdl.handle.net/2433/229012

タイトル:	Cell type-specific suppression of mechanosensitive genes by audible sound stimulation
著者:	Kumeta, Masahiro Takahashi, Daiji [illegible]su, Kunio
URI:	http://hdl.handle.net/2433/229012
DOI(出版社版):	10.1371/journal.pone.0188764
関連リンク:	http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/research_results/2017/180201_1.html
出現コレクション:	学術雑誌掲載論文等

KURENAIでのDOI利用



KURENAI - メタデータ入力支援

- 各種IDによるメタデータ入力支援機能
  - Crossref: DOI
  - CiNii Articles: NAID（NII論文ID）
  - Pubmed: PMID

↓

APIを活用

リポジトリ登録システム – 機能

- 教員自らメタデータと本文ファイルを登録
  - KURENAI（DSpace）とは別システムを構築
  - 登録状態（共著含む）の管理
  - 「適用例外」処理
- データ連携
  - 個人IDを元に researchmap、Scopusから登録対象論文の書誌データを自動収集
  - Crossref DOI Metadata APIを使用したメタデータ入力支援

CRISとの連携

- 教育研究活動DB（京大のCRIS）
  - researchmapと連携
- CRIS→KURENAIリンク: DOIがキー
  - DOIが入力されていない場合
    →論文タイトル等のN-gram統計処理で
    マッチング（判定は厳しめ）

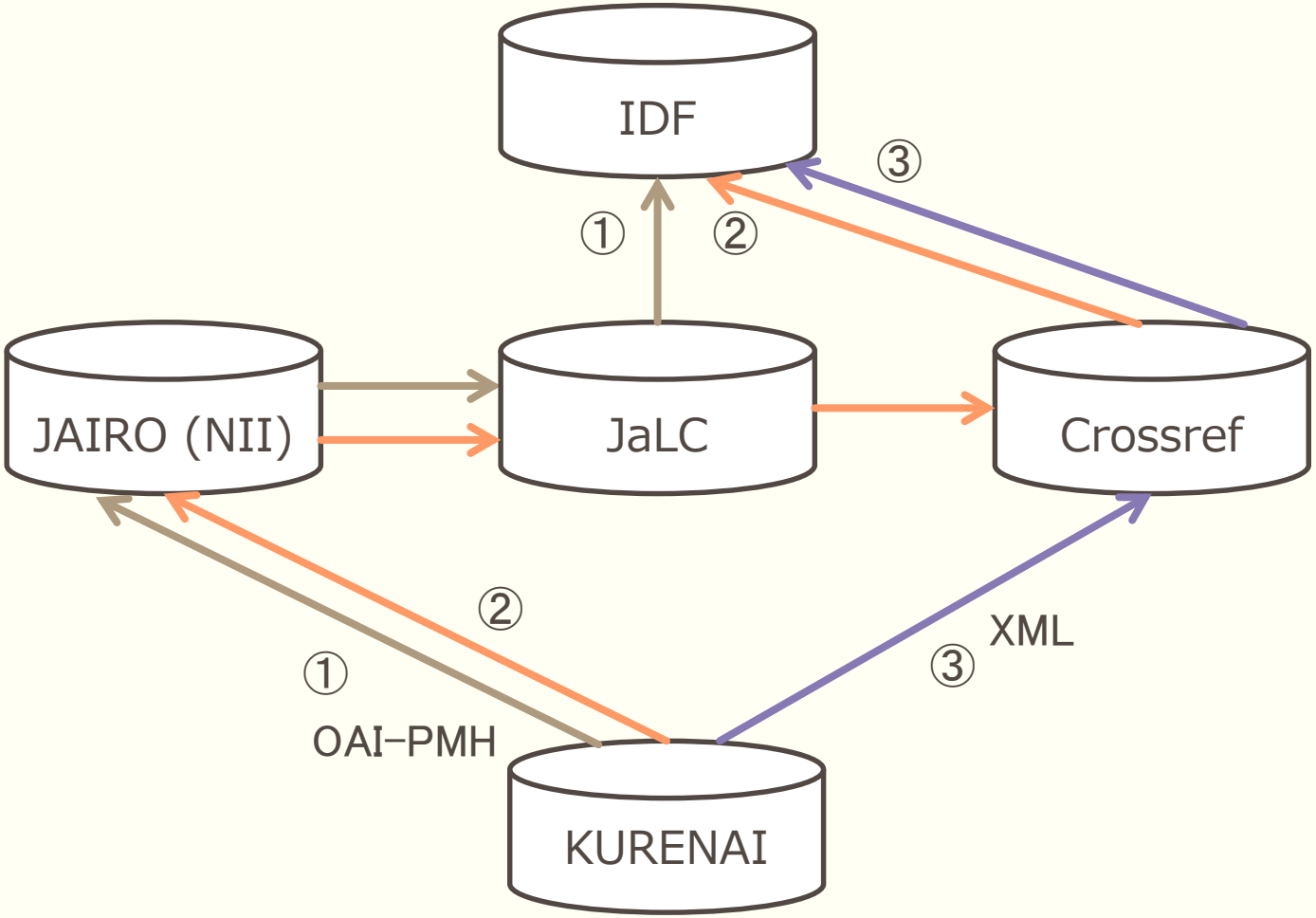
researchmap入力時にはDOIを入力してほしい

DOI活用 - 付与の立場から

KURENAIでのDOI付与

- DOI付与対象（現時点）
  - 学位論文
  - 紀要論文
- 付与方法
  - NII経由でのJaLC準会員として（①JaLC DOI, ②Corssref DOI）
  - Crossref正会員として（③Crossref DOI）

KURENAIでのDOI付与フロー



DOI付与の課題

- 学位論文
  - 出版等による本文非公開化への対応

  → DOI付与機関としての責任

- 紀要論文
  - 付与対象紀要の拡大
  - 出版プロセスと連携したワークフローの調整（DOIを印字した状態で出版）

  → 複数の出版元（編集委員会）との調整

今後の展開と課題

今後の展開と課題

- DOI付きコンテンツの収集
  - CRIS: 既存データのDOI入力
    →researchmapでの入力促進（教員へ）
- DOI付与コンテンツの拡大
  - 研究データ → 学内で検討組織立ち上げ
  - デジタルアーカイブ（図書館、博物館）

Thank You!